

令和元年度 検索エキスパート研修[特許]実施報告

令和2年3月

令和元年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、検索エキスパート研修[特許]を3回実施いたしました。
本研修は先行技術調査の業務に従事すること等により、特許法についての十分な知識を有する者を対象とし、先行技術調査能力を一層向上することにより、出願及び審査請求の適正化に資する人材の育成を目的にしている研修です。

1. 研修の概要									
(1)日程	第1回			第2回			第3回 開催中止		
	6月25日～28日			12月3日～6日			(令和2年3月10日～13日)		
(2)開催地	東京都			東京都			東京都		
(3)申込人数	30名			16名					
(4)参加人数 (分野別内訳)	29名			15名					
	機械	化学	情報通信	機械	化学	情報通信	機械	化学	情報通信
	10名	9名	10名	6名	5名	4名			
(5)講師	8名			8名					
2. アンケート結果									
(1)研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合			
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	14名	56%	4名	36%					
・知識や能力が向上した (有意義であった)	10名	40%	7名	64%					
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	1名	4%	0名	0%					
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%					
・無回答	4名	—	3名	—					
(2)主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・座学だけでなく、グループワークがあり、同じ現場での悩みや取り組みを知ることができ有意義であった。 ・いずれの科目も実務で実践すべき内容があり、役立つものと感じている。 ・審査官を経験された先生方の話が聞けて、今後の調査活動に生かすことができると思った。 ・IPCの基本概要が理解できた。 ・FI,FタームIPCの違いがわかるようになった。 ・文献組合せの考え方が詳細に理解できた。 ・審査官を経験した方の目線で実務に則した内容で話していただけたのが良かった。 ・インデックスの概要は知っていたが、ラストプレイスやファセットなど細かいルールまでの知識が無かった為、知ることが出来有意義だった。 								
(3)アンケート回収率	29名	100%	14名	93%					